

令和5年 第3回

区づくり推進横浜市議員会議

会議資料



中 区

中区区づくり推進横浜市議員会議

目 次

議 題

- (1) 令和4年度中区個性ある区づくり推進費決算状況について……………P1
- (2) 令和4年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績について……………P3
- (3) 令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況について…P18
- (4) 令和6年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方について(案)…P35
- (5) その他

令和 4 年度中区個性ある区づくり推進費決算状況

1 総括表

(単位：円)

予算区分	予算現額 (A)	決算額 (B)	差引 (A - B)	執行率
(1) 自主企画事業費	100,719,000	95,796,147	4,922,853	95.1%
(2) 統合事務事業費	53,367,000	51,331,280	2,035,720	96.2%
(3) 区庁舎・区民利用 施設管理費 ※	436,556,000	433,382,647	3,173,353	99.3%
合計	590,642,000	580,510,074	10,131,926	98.3%

※当初予算額 418,355,000円から 2月補正により、予算現額が 18,201,000円増額となっています。

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位：千円)

施策	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A - B)	主な事業、実施内容
1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり (8事業)	20,380	18,313	2,067	地域防災力向上事業 減災行動啓発、災害時担い手育成等を実施 花・緑でまちの環境改善事業 花壇やプランター等の設置でまちの環境改善を実施
差引の主な理由 【地域防災力向上事業】で資機材点検や防災拠点用物品等が安価で契約できたことによる残				
2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり (6事業)	19,492	17,385	2,107	中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業 第4期計画の周知・推進、地域活動の支援を実施 みんなで子育て事業 育児に関する講座等を実施 みんなでSTOPザ虐待 育児に関する講座、学齢期家庭への支援等を実施 地域包括ケアシステム推進事業 高齢者の地域交流促進、認知症介護者支援等を実施
差引の主な理由 【みんなで子育て事業】でコンパス事業の動画作成委託等が安価で契約できたことによる残				
3 多文化共生のまちづくり (3事業)	14,251	13,352	899	多文化共生まちづくり事業 多文化共生講演会、多言語翻訳配信ツール導入を実施 多文化交流事業 外国人転入者向け生活ガイダンスくらし情報案内を開始
差引の主な理由 【多文化交流事業】で新型コロナウイルス感染症拡大の影響による翻訳・ボランティア委託料の残				
4 地域の活力があふれるまちづくり (9事業)	24,961	25,006	△ 45	「中区愛」はぐくみ事業 チューリップ球根購入、碑もとく絵地図作成等を実施 インクルーシブスポーツ推進事業 インクルーシブスポーツ体験会やポッチャ交流大会等を実施 商店街魅力アップ事業 ラジオ番組や地域情報誌と連携した情報発信等を実施
差引の主な理由 【「中区愛」はぐくみ事業】で碑もとく絵地図追加印刷による増				
5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり (2事業)	21,635	21,739	△ 104	区役所環境向上事業 執務環境の改善等により区民満足度の向上を推進
差引の主な理由 【区役所環境向上事業】でYCAN無線LAN導入に対応するためのプロジェクト等の調達による増				
合計	100,719	95,796	4,923	

注) 各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位：千円)

事業区分	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
統合事務事業費	53,367	51,332	2,035	差引の主な理由 【統合事務費】で消耗品費、印刷製本費、 タクシー借上料等の使用実績の減
統合事務費	37,877	36,743	1,134	
統合事業費	15,490	14,589	901	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

事業区分	予算現額 (A)	決算額 (B)	差引 (A-B)	備考
区庁舎・区民利用施設管理費	436,556	433,383	3,173	差引の主な理由 【公会堂管理費】で電気使用量実績が予算 を下回ったことによる残
区庁舎等管理費 (光熱水費等管理費を含む)	125,070	124,839	231	区庁舎(本館・別館)、中土木事務所、区 民活動センター
公会堂管理費 (光熱水費等管理費を含む)	22,705	12,998	9,707	開港記念会館
地区センター等管理費	103,159	103,159	0	地区センター(3)、集会所(1)
ログハウス管理費	7,977	7,977	0	こどもログハウス(1)
老人福祉センター等管理費	41,371	41,569	△ 198	老人福祉センター(1)
コミュニティハウス管理費	71,750	73,309	△ 1,559	コミュニティハウス(6)
区スポーツセンター管理費	49,400	49,400	0	中スポーツセンター(1)
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,065	8,213	△ 5,148	区庁舎等、区民利用施設の修繕
その他 (国際交流ラウンジ・遊び場)	12,059	11,919	140	国際交流ラウンジ(1)、子どもの遊び場 (6)、町のはらっぱ(1)

注) 各欄の金額は、千円未満を四捨五入しているため、各項目の集計と合計とが符合しない場合があります。

令和4年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業実績【議題2】

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名		事業内容
1 地域防災力向上事業★		<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図りました。区民の自助・共助の意識醸成のため、減災に関する啓発や防災訓練等に取り組みました。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域及び企業等に対する減災支援（防災講話15回、防災まち歩き（7/1大鳥小、1/21元街小）） イ マンション等に特化した啓発9回（約310人） ウ 防災講演会（YouTube配信、くぼてんき氏（3/10～3/30）） エ 地震・風水害対策等の啓発の発信（マリンFM（12回）、広報よこはま（9月号特集（マンション防災）等）） <p>(2) 災害時の担い手育成事業 小中学生に対し防災出前教室を実施（小中14校のうち11校で実施）</p> <p>(3) 防災訓練・災害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 風水害時福祉避難所開設訓練（6/30）、帰宅困難者会議（12/13）、情報受伝達訓練（1/17） イ 地域防災拠点の充実及び訓練の実施（15拠点のうち12拠点で実施） ウ 本部体制の充実及び災害対応 （ア）地域防災拠点に女性視点WGの検討結果を踏まえた備品（パーティション28張、蓄光テープ75本）を独自に配備 （イ）情報受伝達手段の多重化（マリンFM緊急割込放送等） （ウ）避難場所開設2回（5/2麦田清風荘、9/23区内5か所） <p>※予算残の理由 資機材点検、防災拠点用物品調達等が安価で契約できたことによる残</p>
 <p>防災講話の様子</p>		
予算額	8,503千円	
決算額	7,391千円	
差引	1,112千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心に、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって防犯活動に取り組みました。活動の実施にあたっては、多くの人数が集まるキャンペーン等を中止し、地域に向けた情報発信を中心とした防犯対策を推進しました。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区民暮らし安全推進協議会総会の開催（5/23） イ 各種防犯キャンペーンの実施 街頭犯罪抑止対策早朝駅頭キャンペーン（10月） ウ ハローよこはま2022へのブース出店 エ 寄席de防犯（2/24 190人） オ 4警察・4防犯協会/防犯協力会・区役所合同会議【中止】 カ 地域自主防犯活動委員会の開催（各地区連防犯担当者会議） （5月、7月、9月、11月、5年3月） <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール等を活用して配信</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 防犯活動費等の支援や防犯活動物品の貸与等を実施 対象：地区連合町内会、防犯団体、小学校等 ※新一年生へ防犯ブザーを配布（4月 880個）</p> <p>(4) 防犯教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア こども防犯教室の開催 イ 高齢者防犯教室の開催（寄席de防犯において実施）
 <p>こども防犯教室</p>		
予算額	2,639千円	
決算額	2,503千円	
差引	136千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3 放置自転車対策・交通安全啓発事業  令和4年度春の全国交通安全運動 中区キャンペーン		区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故の対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みました。 (1) 放置自転車対策事業 ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 長者町2丁目付近及び関内駅北口広場を自転車等放置禁止区域に指定(3/1) イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び協力(随時) ウ 放置自転車等移動要望への対応(随時) (2) 交通安全啓発事業 ア 中区交通安全対策協議会への支援 春の全国交通安全運動中区キャンペーン(4/8) イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用(中区交通安全対策協議会共催)(7月~12月) ウ スクールゾーン対策の実施(5月~3月) エ 各団体への補助金交付(400千円)(5月~6月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園に配布(8月) ク 中区役所内のデジタルサイネージに自転車マナー啓発を掲載 ケ 中区内のサイクルショップに自転車ルール啓発チラシを配布 <参考>(道路局区配付予算) ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストリート(プロのスタントマンによる交通事故再現)方式による交通安全教室を本牧中学校で開催(7/19)
	予算額	1,906千円
	決算額	1,506千円
	差引	400千円
	所管課	地域振興課

事業名		事業内容
4 ヨコハマ3R夢プラン推進事業  中華街クリーンアップ		ごみと資源の総量を21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進に取り組みました。またその活動にあたり三密を避ける等、新型コロナウイルス感染症の対策に最大限の注意を払いました。 (1) ヨコハマ3R夢推進活動 ア 中区役所1階分別相談窓口(毎月2回) イ 区庁舎内に設置する資源回収ボックスによるごみの資源化・減量化 小型家電、リユース文庫(2,936冊)、水銀含有製品回収(107個)等 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業: イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与(4団体に貸出) (2) 中区クリーンアップDAY 区民・事業者・ボランティア団体による清掃活動 新型コロナのため、団体ごとに分散して実施(3団体:約600名) (3) 美化運動支援事業 まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (12団体:約800名) (4) まちの美化対策事業 ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ(7回:約400人) イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策を実施 ウ 外国人への啓発として分別講座の実施(7/7) (5) 美化推進者表彰 まちの美化推進に貢献した個人団体へ区長感謝状贈呈(3/10)
	予算額	2,236千円
	決算額	2,275千円
	差引	△39千円
	所管課	地域振興課

事業名		事業内容
5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業  まちづくりニュース		<p>まちの再生に向けた地域の自主的なまちづくり活動を推進するため、都市整備局、文化観光局、市民局と連携しながら、地元協議会の活動に対する補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行いました。</p> <p>また、まちの活性化には更なる活動の参画者・担い手を増やしてることが重要であるため、地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に関わる団体だけではなくアーティストとも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川周辺の環境改善など、各テーマに沿ったまちづくり活動を行いました。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 協議会定例会等の開催（総会1回、定例会6回、役員会7回等） イ 防犯啓発活動イベント等の開催（防犯パトロール、清掃活動、防災訓練等） ウ 広報活動（まちづくりニュースの発行計3回、打ち水イベントを8/20に実施） <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 協議会等に係る各種会議の運営・開催支援 イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援 ウ まちづくりに関するイベント ワークショップ等の企画立案 エ 地域活動に係る広報活動の支援（まちづくりニュースの編集、ホームページ運営支援等）
	予算額	2,000千円
	決算額	1,997千円
	差引	3千円
	所管課	区政推進課

事業名		事業内容
6 花・緑でまちの環境 改善事業  区庁舎屋上に設置した おもてなしプランター		<p>本事業では、区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行いました。また、夏場の省エネや温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベントを開催しました。さらに、区役所屋上にプランターの設置を行い、おもてなしの区庁舎環境づくりに取り組みました。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 花苗提供 1,800株 イ プランター設置・維持管理 11箇所 実施か所：本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町（音楽通り交差点付近）、大和町、柏葉公園、西の橋、長者町（長者町5丁目交差点付近）、竹之丸（竹之丸保育園付近）、山手駅、開港広場公園、鷺山公園 ウ 種まきイベント（春・秋） 6箇所 実施か所：錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園 エ 花緑のカーテン設置 4箇所 実施か所：山手保育園、横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所 <p>(2) 普及啓発事業 園芸講習会 実施1回（中止1回）</p> <p>(3) 区庁舎おもてなし事業 区庁舎屋上のプランター設置</p> <p>※予算残の理由 他局配付予算活用による花苗購入予算の残</p>
	予算額	1,050千円
	決算額	732千円
	差引	318千円
	所管課	中土木事務所

事業名		事業内容	
7 食の安全・安心事業	 <p>消費者向け食中毒アンケート及び配布チラシ</p>	<p>食品取扱施設に対する監視指導及び従事者への衛生教育、消費者に対する情報発信等により、食中毒の発生件数を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保支援事業</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的な監視指導 監視指導件数：3,194件（中華街一斉点検：190件（6、7月））</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導及び法改正周知 衛生指導件数：126件</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 資料の郵送：290件（5年1月～2月）</p> <p>ウ 新型コロナウイルス等感染症の拡大予防対策 リーフレット3種（5,000枚）</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業</p> <p>ア 食品取扱事業者向け食品衛生講習会 28回、1,588人（中華街向け講習会 3回 161人を含む）</p> <p>イ 区民向け啓発等 区庁舎本館広告モニター等での動画上映、別館でのパネル展示、広報よこはまなか区版への掲載（7月号、11月号）</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン ハローよこはまにて消費者啓発、アンケートを実施（11月 500人） ※飛鳥Ⅱキッズツアー、イセザキモールパレード【中止】</p>	
		予 算 額	1,235千円
		決 算 額	1,083千円
		差 引	152千円
		所 管 課	生活衛生課

事業名		事業内容	
8 動物適正飼育推進事業	 <p>ハローよこはまでの啓発の様子</p>	<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組みました。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施しました。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施します。（4月）【中止】</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施しました。</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施しました。（5回）</p> <p>エ 飼い主向け講習の実施等により、動物の適正な飼い方に係る知識の普及を行いました。</p> <p>オ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出しを行いました。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業</p> <p>ア 啓発講習会を実施します。【中止】 タウンニュースを活用した区民向け啓発を実施しました。（3月）</p> <p>イ 各地域防災拠点の拠点訓練におけるペット同行避難に関する展示や同行避難訓練等の実施について提案、支援しました。</p> <p>ウ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進しました。</p>	
		予 算 額	811千円
		決 算 額	825千円
		差 引	△14千円
		所 管 課	生活衛生課

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★  中なかいいネ！ シンポジウム		誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるまちづくりを目指し、中区地域福祉保健計画の推進に取り組みました。 <p>(1) 中なかいいネ！推進会議の運営 地域の見守り力を高める「えん結び」と健康づくりの「元気いっぱい」の活動を推進するため、区推進会議を3回（5、9、2月）と各地区の推進会議（34回：13地区のべ数）を開催しました。</p> <p>(2) 地域支援チームによる13地区の支援 各地区の計画の取組を区社会福祉協議会・地域ケアプラザとも連携して支援しました。</p> <p>(3) 計画推進のための取組 ア 計画の周知 計画概要版と地区別計画のリーフレットを区民が集まるイベント等で配布するとともに、広報よこはまの連載やホームページ等で周知しました。 イ 中なかいいネ！シンポジウムの開催（3月） 地域で行われている見守り活動やまちぐるみの健康づくりの取組を紹介しました（約70名）。</p> <p>(4) 人材の育成 ア 地域人材の育成 地域活動者の活動の幅を広げ、団体間や自治会・町内会と協働するきっかけづくりのためのワークショップを11月に開催しました。（16団体） イ 地域支援従事者研修 地域支援を行う、区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員向け研修を他課との共催で5月に行いました。（56名）</p>
	予算額	1,944千円
	決算額	1,918千円
	差引	26千円
	所管課	福祉保健課

事業名		事業内容
2 健康アシスト事業  てくてくウォーキング事業 （歩行姿勢測定と ウォーキングアドバイス） @子育て支援拠点		区民が健康に関心を持ち、身近な健康づくりを実践できるよう、支援・啓発を行いました。※新型コロナ対応に伴う業務繁忙により一部事業を縮小 <p>(1) 健康ナビゲーション事業 子育て働き世代を重点に、健康測定（体組成計等）や保健指導により健康づくりのきっかけを提供し、生活習慣病の予防に取り組みました。（乳幼児健診、がん検診、健康づくりのイベント、子育て支援拠点の各会場にて実施）（4か月児健診20回 362名）</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 地域と協働し、子育て支援拠点等で講座を行い、各地区でのウォーキング活動を定着させるための活動を行いました。また、ウォーキングガイドブックの改訂を行いました。</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業（元気フェスタ21） 多くの人が集まるハローよこはまの場を活用し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動を行いました。</p> <p>(4) 妊娠糖尿病対策事業 妊娠糖尿病既往者等の糖尿病ハイリスク者に対し、乳幼児健診等を活用した啓発および健康教育を実施しました。（12月 9組）</p> <p>(5) 食育推進事業 ア 年代別の個別食事相談や講座、食育イベントの開催 イ 食育従事者向け研修、食育ネットワーク会議の開催</p> <p>(6) 歯科口腔保健対策事業 令和5年度から始まる「第3期健康横浜21」の分野別計画となる「横浜市歯科口腔保健推進計画」の策定をふまえ、あらゆる世代に向けた歯周病予防・オーラルフレイル予防に取り組みました。 関係機関向け集団健康教育（16回 188名）</p>
	予算額	3,389千円
	決算額	2,657千円
	差引	732千円
	所管課	福祉保健課

事業名		事業内容
3 地域包括ケアシステム推進事業★  ふれあい運動会 (中区老人クラブ連合会)		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」(4年3月策定)に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めました。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援しました。 ア 老人クラブ連合会行事への補助、開催支援 老人福祉大会(9/21)、ふれあい運動会(12/8)、 グラウンドゴルフ大会(10/17)、 ノルディックウォーキング(年5回) イ 老人クラブへの加入促進(チラシの印刷・配布、加入促進グッズ(収納式反射リュック)の購入・配布) ウ 敬老月間事業</p> <p>(2) 介護予防事業 普及啓発カレンダー(900部)を作成し、介護予防を目的とした通いの場や地域ケアプラザ等で配布しました。</p> <p>(3) 認知症支援事業 ア 介護者支援事業 臨床心理士相談の実施(18回) 介護者支援研修の実施(7/15、2/24) イ 認知症サポーター企業等の認証(67事業所)</p>
予算額	1,451千円	
決算額	1,425千円	
差引	26千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
4 障害児・者ネットワーク支援事業  ポレポレグッズカタログ 「なかなかいよいよ」		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制づくりを推進しました。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図りました。 ア 自立支援協議会の開催(事務局会議12回ほか、計48回) イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催(10/28、11/7)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 ポレポレグッズ(障害者作業所製品)の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援しました。 ア ポレポレグッズカタログの更新・増刷(1,000部) イ 中区障害者団体連絡会に事業運営費を補助 ウ 連絡会に設置されている販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会の開催支援(各6回) エ ポレポレグッズの区役所内定期販売会支援(12回) オ プロスポーツチームと連携したポレポレグッズの販売</p> <p>(3) 障害理解推進事業 「共生社会の実現(障害者差別解消法)」に向けて障害に対する理解を促進するため、インクルーシブスポーツの体験(5/29ほか)や区障害者団体連絡会主催のポレポレ祭り(10/29)など、地域社会に対する働きかけを行いました。</p>
予算額	960千円	
決算額	959千円	
差引	1千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5 みんなで子育て事業★  コンパス事業		子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、行政が家庭や地域と連携し、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援しました。 (1) コンパス事業 「子どもの力を引き出す子育てコーチング」講座 (4回 63人) 野毛地区センター、本牧原地域CP、簗沢地域CP、麦田地域CP 講座内容に合わせた動画を配信 (2) 育児支援事業 区内公立保育園で絵本貸出、育児相談、施設開放を実施 (415人) (3) 外遊び応援事業 横浜公園、本牧山頂公園、山吹公園、本牧市民公園、根岸森林公園 (5回 81組 175人) (4) 保護者向け保育所等情報提供 「中区保育所等利用のしおり」 (3,700部) (5) 「おでかけスポットマップ」の作成 日本語版 (4,000部) カタログポケットにて多言語版を配信 (令和4年度閲覧数 258回) (6) 外国人向け両親教室 中国語を母語とする方向けの両親教室 (2回 5人) (7) 中国語窓口案内補助 窓口案内等中国語通訳 (415件) ※予算残の理由 動画作成、窓口案内等委託契約が安価で契約できたことによる残等
	予算額	6,698千円
	決算額	5,014千円
	差引	1,684千円
	所管課	こども家庭支援課

事業名		事業内容
6 みんなでSTOPザ虐待★  赤ちゃん学級 (中本牧コミュニティハウス)		安心して子育てできる地域での見守り力づくりを推進、子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供しました。 (1) 児童虐待対応力向上事業 スーパーバイザー (弁護士) を活用した事例検討会・研修を実施 (2回 53人) (2) 赤ちゃん学級 (69回 1,025人/7会場×10回予定のうち1回中止) (3) 乳幼児健診の充実 ア 乳幼児健診に保育ボランティアを配置 (72回) イ 未受診家庭の状況把握や情報提供を実施 (訪問41件 電話153件) (4) 育児を学ぶ教室・講座 ア ベビーマッサージ教室 (10回 92人/12回予定のうち2回中止) イ 体罰によらない子育て講座 (4回連続講座 15家庭) (5) 相談業務強化事業 相談対応件数 (1,352件) (6) 学齢期家庭向け支援事業 ア 虐待予防啓発動画の普及 (ア) 市バスデジタルサイネージの活用 (11月～3月) (イ) 小中学校の全体集会における周知 (小学校9校、中学校5校) イ 啓発カードの配布 (5,500枚)
	予算額	5,050千円
	決算額	5,412千円
	差引	△362千円
	所管課	こども家庭支援課

3 多文化共生のまちづくり

事業名		事業内容
1 多文化情報発信事業  多言語広報紙		人口の10.9%（4年度末時点）を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信しました。また、4年度は、区民生活マップの英語版、中国語版を増刷しました。
		(1) 多言語広報紙発行事業 ア 発行回数及び発行部数 (ア) 「Naka Ward Town News」(英語版) (3回 各4,100部) (イ) 「春夏秋冬」(中国語版) (3回 各4,500部) (ウ) 「中区多言語広報紙」(日本語版) (3回 各1,000部) イ 特集内容 秋号(10月) 困る前に税金の申告 冬号(1月) 仕事の探し方 春号(4月) 大地震への備え ※夏号(7月)については、新型コロナウイルス感染症の影響により休刊
		(2) 多言語ホームページ運営事業 ア 言語：英語、中国語、ハンゲル、やさしい日本語 イ 回数：月1回(12回更新) ウ 内容：広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等
		(3) 区民生活マップ作成事業 ア 言語：英語、中国語 イ 発行部数：各2,000部増刷
		(4) その他 ウェルカムリーフレットのベトナム語版を更新・増刷し、ネパール語版を新たに作成しました。
予算額	4,043千円	
決算額	4,282千円	
差引	△239千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2 多文化共生まちづくり事業  4年度多文化共生交流イベントの様子		日本人、外国人双方が地域の一員として安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、多文化共生の意識醸成を通じて、第2期多文化共生推進アクションプランの推進を図りました。 また、文章を自動翻訳し10言語で閲覧できるアプリ「カタログポケット」を導入したほか、「地域とのつながりづくり」に向けた多文化交流イベントを実施しました。
		(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業 区民・職員の多文化共生意識の醸成や各課が取り組む多文化共生施策の推進支援を行いました。 ア 職員向け「やさしい日本語」研修の実施(12月) イ 「共生社会」をテーマとした区民向け講演会を実施(2月) 《講演会概要》 日時：5年2月8日(水)14時～15時30分 場所：横浜市役所1階アトリウム 登壇者：上原 大祐氏(パラアイスホッケー銀メダリスト)、ハヴィリ リッチー選手(横浜キヤノンイーグルス) 司会：船本 由佳氏(マリンエフエム) 参加者数：約110名
		(2) 多文化共生交流促進事業 区内の支援団体等と連携し、地域において日本人・外国人住民の交流を促進するイベントを実施(3月)
		(3) 多言語翻訳機器充実事業 行政情報の多言語発信を充実させるため、文章を自動翻訳し10言語で閲覧できるアプリ「カタログポケット」の配信ツール(MCCatalog+)を導入(4月)
	予算額	1,250千円
決算額	1,088千円	
差引	162千円	
所管課	区政推進課	

事業名	事業内容
<p>3 多文化交流事業★</p>  <p>中区多文化フェスタ</p>	<p>なか国際交流ラウンジで、外国人支援及び多文化理解を推進しました。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 ヒアリング等により地域と連携しながら外国につながる若者の居場所作り及びボランティア育成等に取り組みました。 ア 連合町内会定例会に月1回程度参加し、地域ヒアリングを実施 イ Rainbowスペースの運営 (41回 459名) 参加者間の交流、生活・進路等についての情報提供、相談 ウ 日本語ボランティアブラッシュアップ講座 (6回) エ 多文化共生ボランティア入門講座 (6回)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 ア 定期教室 (30回 各20名) イ はじめての日本語教室 (60回のべ60人)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 多文化理解講座の実施 (11回)、多文化フェスタ (12/16・17 464名)</p> <p>(4) 多文化ボランティア育成・活用事業 通訳ボランティアの派遣、地域イベント等のチラシ翻訳</p> <p>(5) 中区案内等翻訳事業 各課の簡易な案内表示等を翻訳 (英語、中国語)</p> <p>(6) 情報提供強化事業 転入時に生活ガイダンス「暮らし情報案内」を実施 (36世帯)</p> <p><参考> 地域連携強化事業 (5,000千円・国際局区配 (地方創生推進交付金))</p> <p>※予算残の理由 新型コロナウイルス感染症の影響により地域イベントが減少し、ボランティア派遣やイベントチラシ翻訳等の依頼数が減少したため。</p>
予算額	8,958千円
決算額	7,982千円
差引	976千円
所管課	地域振興課

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1 「中区愛」はぐくみ事業★  <p>スウィングーのイベント派遣 (トーチでつながる駅伝大会の様子)</p>		<p>広く中区で親しまれている区の花「チューリップ」やマスコットキャラクター「スウィングー」をはじめ、横浜開港の歴史と異国情緒を感じさせる街並みやスポット等、様々にあふれる中区の魅力を区民、区内事業者と連携し、発信・再発見することで、「中区愛」をはぐくみ、地域の活性化・元気づくりにつなげました。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 区の花「チューリップ」の認知度向上を図るため、区内が「チューリップ」であふれる取組を実施しました。横浜公園や区民利用施設等へのチューリップの植付けや球根の配布を行いました。</p> <p>(2) 中区みんなのマスコット「スウィングー」事業 マスコットキャラクター「スウィングー」を各種イベントに派遣した(13回)ほか、PRグッズ等を作成しました。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 区内に点在する「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を紹介する街歩きマップ「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」第8版の発行・配布を行いました。また、新たに碑の解説動画を作成しました。</p> <p>(4) 中区って「イイネ！」フォトコンテスト2022 中区内の“私だけが知っている”「中区の魅力」を写真に撮り、エピソードを添えたものを募集しました。中区に関わる人が魅力を発信し、中区の魅力を再発見し地域への愛着や誇りをはぐくみました。(応募234点 表彰25点)</p> <p>(5) 横浜マイスター技能魅力発信事業 中区に在住・在勤する横浜マイスターを小中学校や各種イベント等に派遣しました。</p>
予算額	3,976千円	
決算額	4,359千円	
差引	△383千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2 まちづくり推進事業  <p>デジタルクイズラリー</p>		<p>中区は、住宅環境をはじめ、商業、港、観光、文化・芸術、国際性などの多様な魅力がある横浜市の中心です。安心して生活し、働き、訪れたい魅力の中区の実現を目指してまちづくりを進めました。</p> <p>区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行いました。また、4年度は地域資源を活かし、関内・関外エリアの回遊性の向上を目指した取組を進めました。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業</p> <p>ア 地域の賑わい創出の取組 関内・関外エリアの歴史・文化・観光資源等、魅力発信に資するスポットをゲーム感覚で楽しくまち歩きができるデジタルクイズラリーを実施(2月から3月)</p> <p>イ まちづくり団体のルール運用・新規ルールづくり等の支援 (ア) まちづくり活動を行っている区民や団体を支援するため定例会等へ参加(通年) (イ) 本郷町3丁目地区の地域住民が組織するまちづくり協議会の活動支援(8回)</p> <p>(2) SDGs推進事業</p> <p>ア 中区SDGsマルシェの開催(11回) イ 「資源ごみ」と「生まれ変わったモノ」を交換するイベントを実施(1月) ウ 区職員向けに「SDGsワークショップ」を実施(1月、3月)</p>
予算額	1,634千円	
決算額	1,565千円	
差引	69千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3 自治会町内会活動支援事業  自治会町内会加入促進チラシ		市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会の取組を支援しました。また、市民局や中区連合町内会長連絡協議会と連携し、加入率の維持・向上に努めました。
		(1) 自治会町内会加入促進 ア なか区民活動センターでのイベント等で、加入促進チラシや加入申込書を配布（寄席de防犯等のイベントで約2,000セット） イ 転入時に、加入促進チラシや加入申込書を配布 ウ 新規建築マンションや未加入マンションの管理組合を対象に新たな自治会町内会設立や町内会への加入を働きかけ
		(2) 掲示板整備補助事業 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供に寄与する掲示板の整備を支援することを目的に、その経費の一部を補助しました。 補助件数：13件（18基：新設5基、更新4基、修繕9基）
		(3) 自治会町内会長感謝会 市政及び区政に多大なご協力をいただいております、また地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、3月9日にロイヤルホールヨコハマにて永年勤続の会長に対し表彰を行いました。（市長表彰：14名、区長表彰：4名）
		(4) 自治会町内会活動支援 ア 自治会町内会実務担当者向け研修会【中止】 補助金交付事務（補助制度や申請方法の説明）は個別に対応 イ 自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）
予算額	3,343千円	
決算額	2,913千円	
差引	430千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4 商店街魅力アップ事業★  小学生が商店街の店舗にインタビューしている様子		地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行いました。
		(1) 商店街広報活動事業 ア マリンFMを活用した番組制作及び放送 「ただいま商店街！」を放送（6月～3月 20回放送） イ 地域広報紙への記事掲載 ウ 広報よこはまなか区版9月号に特集記事を掲載 エ その他 (ア) 商店街紹介動画の配信（平成29年度から作成） (イ) 「ただいま商店街！」の放送内容のアーカイブ配信
		(2) ハローよこはま2022への商店街ブース出店 7団体のハローよこはま2022への出店を支援しました。
		(3) 商店街連携モデル事業「小学生の商店街お仕事体験」【中止】
		(4) SDGs 商店街プロジェクト事業に向けた取組の実施 SDGsの目標の1つである「住み続けられるまちづくり」の実現のため、商店街の活性化と、商店街と地域との繋がりを深めること目指し、大鳥小3・5年生の総合授業と連動した取組を実施しました。 ア 外部講師による出前授業の実施 イ マリンFM、タウンニュース等を活用し、成果を発信（2、3月）
予算額	3,300千円	
決算額	3,830千円	
差引	△530千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5 インクルーシブ スポーツ推進事業★  インクルーシブ スポーツ体験会		<p>インクルーシブスポーツを推進することにより、障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流の促進を図ります。</p> <p>また、参加者が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図りました。</p> <p>(1) 体験できる場の提供</p> <p>ア 体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカーの体験会を開催(5/29 約1,200名 会場：大さん橋ホール)</p> <p>イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 中区インクルーシブスポーツ連絡会等と連携し、区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 (ア) ポレポレまつり (10/29 約200名 会場：本牧いずみ公園) (イ) ハローよこはま (11/13 約500名 会場：象の鼻パーク)</p> <p>(2) 交流大会の開催 体験を通じてインクルーシブスポーツの魅力を発信するため、ボッチャ交流大会を開催 (2/25) 会場：横浜市立本町小学校 体育館 参加者：19チーム77名</p> <p>(3) 講演会等の実施(2/8) 会場：横浜市庁舎1階アトリウム 講師：上原 大祐氏 (パラアイスホッケー銀メダリスト)、ハヴィリ・リッチー氏 (横浜キャノンイーグルス) 司会：船本 由佳氏 (マリンFM) 参加者：110名</p>
	予算額	2,345千円
	決算額	2,185千円
	差引	160千円
	所管課	地域振興課

事業名		事業内容
6 スポーツ・青少年 事業  中区文明開化 ウォークラリー		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業展開しました。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業</p> <p>ア 区スポーツ協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会へ事業費を補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 ラジオ体操講習会 (6/18 27人) ランニングセミナー (3/25 27人)</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業 横浜キャノンイーグルスや横浜エクセレンスと連携して実施</p> <p>ア 中区スポーツ教室 小学生ラグビー教室(3校)、小学生バスケットボール教室(1校)</p> <p>イ YC&ACキッズラグビー教室 (2/12 約50人)</p> <p>(3) 青少年育成事業</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成の取組を行う団体に事業費を補助 (2団体)</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ (6/22 ロイヤルウイング 児童96人) 小学生フットサル大会 (1/29 3/5)</p> <p>(4) ウォークラリー推進事業 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体(青少年指導員、スポーツ推進委員)が主体となり開催 (5/29 88組288名)</p> <p>(5) 中区ジュニアダンス推進事業 青少年が仲間とともに大舞台上で日頃の練習成果を披露する、オールジャンルのダンスイベントの開催を支援 (7/31)</p>
	予算額	3,852千円
	決算額	3,440千円
	差引	412千円
	所管課	地域振興課

事業名		事業内容
7 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援しました。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進しました。また、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進しました。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業登録団体や街の先生の作品展・ワークショップ（6月、3月）、中区民利用施設スタンプラリー（10/15～11/30）、センター祭り（11/13 約800人）、活動団体ガイド発行（3月）、登録団体との連携講座（年5回）、街の先生オープン講座（年3回）、団体支援講座（1回）</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌「なかぼぼら」の発行（隔月発行） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）</p> <p>(2) 生涯学習支援事業 人材育成講座「動画編集ボランティア養成講座」（全3回） 街歩き講座「中区タウンピクニック」（年3回）</p> <p>(3) 読書活動推進事業</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会（3月）及び「なか区ブックフェスタ」の開催（10～11月 25団体）</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 読書関連イベント開催（11/23）</p> <p>(4) その他（文化活動支援事業として、共催・後援等による支援）</p>
 <p>センター祭り</p>		
予算額	2,886千円	
決算額	3,552千円	
差引	△666千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
8 ハローよこはま2022		<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2022」を開催しました。</p> <p>(1) 基本コンセプト</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信していくことで、「区民はもとより、中区で働く人や横浜を訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけます。</p> <p>イ 中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成をねらいとします。</p> <p>ウ 「SDGsに取り組むハローよこはま」と位置づけ、グローバルな課題を身近な問題として考える契機を提供することで、来場者にハローよこはまがSDGs達成に取り組むイベントであることをPRします。</p> <p>(2) 開催実績</p> <p>ア 日程 : 11月13日（日）午前10時～午後4時</p> <p>イ 会場 : 象の鼻パーク</p> <p>ウ 来場者数 : 約65,000人</p> <p>エ 参加者 : ブース出店 : 81団体、ステージ出演 : 13団体</p> <p>(3) 実施内容</p> <p>ア 区民団体及び企業等によるブース出店（81ブース）</p> <p>イ 中区で活動する団体等によるステージ発表（横浜音祭り2022と連携 13団体）</p> <p>ウ SDGsを身近に感じるワークショップやインクルーシブスポーツ体験</p> <p>エ 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス、横浜DeNAベイスターズ、Y.S.C.C.と連携したスポーツ体験コーナー</p>
 <p>中区民祭り 「ハローよこはま2022」</p>		
予算額	2,925千円	
決算額	2,925千円	
差引	0千円	
所管課	地域振興課	

事業名	事業内容
<p>9 都市間交流事業</p>  <p>飯能市及び横浜市中区の マスコットキャラクター</p>	<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、相互に魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、地域経済の活性化及びふるさと意識の醸成につなげました。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市：友好交流協定（平成26年3月締結）</p> <p>ア 10月に中区長が飯能市へ訪問、飯能市長と意見交換を行いました。</p> <p>イ 11月に行われたハローよこはまにて交流協議会ブースを出展し、主に中区民に向け飯能市の魅力について、PRを行いました。</p> <p>ウ Twitterを利用し、ハローよこはまでの出展報告や飯能市への訪問結果等について、相互にPRを行いました。</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村：友好交流協定（平成28年2月締結）</p> <p>11月に行われたハローよこはまにてブースを出展し、野菜の販売等を通してPRを行いました。</p> <p>(3) 岩手県釜石市：友好交流協定（平成26年3月締結）</p> <p>3月に横浜市内にて行われたイベントに釜石市が参加しました。</p> <p>(4) 仁川広域市中区：友好交流協定（平成22年3月締結）</p> <p>仁川広域市中区長就任式（7月）、第31回仁川広域市中区区民の日記念式（10月）に際し、中区長によるビデオメッセージを送付</p> <p>※ 上記の他、山形県米沢市と交流を行いました。</p>
予 算 額	700千円
決 算 額	238千円
差 引	462千円
所 管 課	区政推進課

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1 区役所環境向上事業	<p>ぬくもりある行政サービスを提供するため、職員の区民サービスへの意識向上に取り組みました。また、来庁者及び職員にとって利用しやすい庁舎となるよう、環境改善・執務環境の向上に取り組みました。</p> <p>(1) 人権啓発事業 人権が尊重される社会を目指し、区民を対象に人権啓発映画上映会(1/22 56名)を開催しました。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施しました。</p> <p>(2) 区民顕彰、CS・ES向上、人材育成事業 ア 障害者理解のための広報活動に取り組み、啓発に寄与した功績を称え、「見守り委員会」を表彰 イ CS向上のため、レジリエンス研修を実施(10/19 11/2) ウ 職員参加型プロジェクト(7プロジェクト)や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上を目指しました。</p> <p>(3) 利用しやすい区役所づくり事業 新型コロナウイルスの感染症対策(アルコール消毒液の設置、窓口の飛沫感染対策)や警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善(7月～9月スポットクーラー設置等)を実施しました。</p> <p>(4) 執務環境向上事業 デジタル統括本部による庁内ネットワークの無線LAN導入にあわせてICT機器(ディスプレイ17台ほか)の購入や、ウェブ会議システムの運用を開始するなど事務の効率化を図りました。</p> <p>※予算超過の理由 庁内ネットワークの無線LAN導入に対応するため、プロジェクト等を調達したことによる増</p>	
	予 算 額	15,106千円
	決 算 額	17,001千円
	差 引	△1,895千円
	所 管 課	総務課



人権講演会の様子

事業名		事業内容
2 広報・案内事業	<p>様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげました。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口に専任のスタッフを配置しました。</p> <p>(1) 広報相談事業 ア 区ホームページでの区政情報発信 イ ツイッターによるイベント情報等の発信(フォロワー数7,733人 発信件数255件) ウ 庁内職員のための広報研修 「プロっぽく見える写真の撮り方講座 ～スマホでもできる!人物の撮り方講座～」 エ 市民からの提案受付(1,031件) オ 団体からの陳情対応</p> <p>(2) 総合案内運営事業 ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映(動画19件 画像17件)</p> <p>※予算残の理由 区民生活マップ作成及び総合案内業務委託が安価で契約できたため</p>	
	予 算 額	6,529千円
	決 算 額	4,739千円
	差 引	1,790千円
	所 管 課	区政推進課



日本大通りのイチョウの様子をホームページ及びSNSにて発信

令和5年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行状況【議題3】

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり ※下線が引かれている部分は、7月末時点で実施済みであることを表しています。

事業名		事業内容
1 地域防災力向上事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略8 政策34、政策35		中区防災計画に基づき地域防災力の向上を図ります。特に区民の自助・共助の意識醸成のため、横浜市避難ナビアプリの周知やマリンFMを活用した防災情報発信等に引き続き取り組みます。 (1) 減災行動啓発事業 ア 地域及び企業等に対する減災支援(防災講話8回 約200人) イ マンション等に特化した居住者向けの防災啓発(3回 約70人) ウ オンライン防災講演会(6年3月配信予定) エ 地震・風水害・崖防災対策等の啓発 マリンFM等を活用した防災情報の発信(4回)、即時避難指示対象区域の住民へ早期の避難行動等の周知(6/21) オ 関東大震災100年を契機とする啓発(防災講演会7/26 72人、都市発展記念館と連携した巡回パネル展(8月)) (2) 災害時の担い手育成事業 防災出前教室(2校 約820人)、防災まち歩き(2学期) (3) 防災訓練・災害対策事業 ア 防災訓練 (ア) 本部運営訓練(7/19、9月) (イ) 情報受伝達訓練(6年1月) (ウ) 帰宅困難者対策会議(12月) イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策 (ア) 地域防災拠点に女性視点WGの検討結果を踏まえた備品(パーテーション(各2張)・蓄光テープ(各5本)等)を配備予定 (イ) マリンFMの緊急割込み放送やタブレット・スマートフォン等を活用した情報受伝達手段の多重化 (ウ) 避難場所開設1回(6/2 区内5か所)
 防災出前教室の様子		
予算額	9,058千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2 安全なまち・防犯対策推進事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策9		「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となり、高齢者の被害が後を絶たない振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。 (1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業(232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催(5/23) イ 各種防犯キャンペーンの実施(5月、10月) ウ ハローよこはまへの出店(11/12) エ 「寄席de防犯」の開催(6年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催(2回実施・5回予定) (2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページなどを活用して広く区民に配信します。 (3) 中区地域防犯活動支援事業(1,705千円) ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、市立小学校(4月に新1年生へ防犯ブザー配布 865個) (4) 防犯教室・講座事業(427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。
 子ども防犯教室		
予算額	2,364千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
3 交通安全啓発・ 放置自転車対策事業		<p>区内で多発する高齢者や自転車の交通事故対策及び放置自転車・バイクの対策などについて、各警察署や地域等の関係団体と連携したキャンペーン等の啓発活動を通して、交通事故防止と自転車等の放置防止に取り組みます。</p> <p>(1) 交通安全啓発事業 (1,897千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全こどもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～) ウ スクールゾーン対策の実施 (5月～) エ 各団体への補助金を交付 (5月、7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 保護者向け自転車マナー啓発チラシ等を配布した。(6月) ク 中区役所内のデジタルサイネージに自転車マナー啓発を掲載 ケ 中区内のサイクルショップに自転車ルール啓発チラシ等を配布 <p>(2) 放置自転車対策事業 (150千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び協力 ウ 放置自転車等移動要望への対応 <p><参考> (道路局区配付予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室を大鳥中学校で開催 (7月)
横浜市中期計画2022～2025		
戦略5	政策28	
 <p>ハローよこはま2022 中区交通安全対策協議会</p>		
予算額	2,047千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4 ヨコハマ3R夢 プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で全市的に10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」の達成、及び「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (160千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 (8月 8か所) イ 庁舎内設置の資源回収BOX (小型家電、水銀含有製品等)、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与 (8月 3団体) <p>(2) 中区クリーンアップ事業 (500千円)</p> <p>区民・事業者・ボランティア団体との協働による清掃イベント、「中区クリーンアップDAY」を通じ、きれいな街づくりを推進します。</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円)</p> <p>まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援 (8月 3団体)</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (561千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ (9回) や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 (8月 3回) イ 不法投棄防止に係る啓発 ウ 外国人向けの啓発 (チラシ作成、分別講座) <p>(5) 美化推進者表彰 (200千円)</p> <p>まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈 (6年3月)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略3	政策19	
 <p>中華街クリーンアップ</p>		
予算額	1,789千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5 初黄・日ノ出町地域 再生まちづくり事業		<p>当該地域では、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会と行政との連携・協働により、安全・安心のまちづくりが進められてきましたが、新たな住民の増加により過去の事実やまちの安全安心に対する認識が薄れていく恐れもあり、予断を許さない状況です。また、まちの活性化に向けて参画者・担い手を一層増やしていく必要があります。</p> <p>地域に関わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携した子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しており、このような活動の中心となる協議会等への支援を通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 環境浄化活動支援補助金 (500千円) ア 協議会定例会等の開催 (毎月) (4回実施・8回予定) イ 防犯啓発活動等の実施 (防犯パトロール毎月ほか) (防犯パトロール: 4回実施・8回予定) ウ 広報活動 (まちづくりニュースの発行ほか)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円) ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援 イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略6	政策29	
 <p>令和4年度の防災訓練の様子</p>		
予算額	2,000千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
6 花・緑で まちの環境改善事業		<p>本事業では、区民（自治会、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで違法駐輪や不法投棄等を防止するための環境整備を行うものです。また、脱炭素社会の形成、地球温暖化対策の普及啓発を目的とした、区内の小学校等への花緑のカーテンの設置や、種まきイベント、園芸講習会を開催します。さらに、区役所や公園の花壇やプランターの植栽整備を行い、国際園芸博覧会の機運醸成とおもてなしの環境づくりを目指します。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 (550千円) ア 花苗提供 1,800株 イ プランター設置・維持管理 12か所 実施予定箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町（音楽通り交差点付近）、大和町、柏葉公園、西の橋、長者町（長者町5丁目交差点付近）、他5か所 ウ 種まきイベント（春・秋） 6か所 実施予定箇所 錦保育園、山手保育園、太陽の子 不動下保育園、横濱中華幼保園、保育園ばんびーな、竹之丸保育園 エ 花緑のカーテン設置 5か所 実施予定箇所 山手保育園、横浜訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所、山元小学校</p> <p>(2) 普及啓発事業 (50千円) 園芸講習会 年2回実施予定（9月 秋季園芸講習会、6年2月 冬季園芸講習会 参加予定者数各25人）</p> <p>(3) イベントおもてなし事業 (450千円) 花壇やプランターの植栽整備・GREEN×EXPO 2027の機運醸成</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>本町小学校の児童と一緒に実施した花植えの様子 (福富町西公園)</p>		
予算額	1,050千円	
所管課	中土木事務所	

事業名		事業内容
7 食と暮らしの安全・安心事業		<p>食品取扱施設、環境衛生関係施設等に対する監視指導や、事業者・消費者に対する衛生教育、情報発信により、食中毒等の健康被害の予防及び拡大・再発防止を図り、区民の暮らしの安全・安心を確保します。</p> <p>(1) 生活衛生関係施設の衛生確保支援事業 (847千円)</p> <p>ア 生活衛生関係施設の衛生対策を行います。</p> <p>(ア) 飲食店が集中する中華街やホテル等に対し、現場での簡易検査を活用した効果的な監視指導や、多言語チラシを用いた啓発等によりHACCPの導入を推進します。あわせて施設内での感染拡大予防の周知・啓発を行います。(中華街：6～7月 200件/通年)</p> <p>(イ) 大規模イベント等での食品の衛生的な取扱いを指導するとともに法改正による屋台等の新たな許可制度について周知します。</p> <p>イ 高齢者や乳幼児等の健康被害のリスクが高い方が利用する社会福祉施設に対し、立入点検等によりノロウイルス等による食中毒・感染症予防の啓発・指導を行います。(9月～6年2月)</p> <p>(2) 暮らしの安全に関する情報発信事業 (388千円)</p> <p>ア 感染症や衛生害虫対策に関する講習会や広報等により、区民や自治会、事業者に向けて健康被害を予防するための注意喚起を行います。(講習会：6～7月 5回、337人/通年)</p> <p>イ 庁舎内での動画上映やパネル展、動画サイトなどを利用し、幅広い年代の区民への啓発を行います。(庁舎内動画上映：6月～/通年)</p> <p>ウ 消費者を対象とした食中毒予防のイベント(食中毒予防キャンペーン)を、ハローよこはま等で開催します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策7	
 <p>監視指導時に配布する中国語チラシ</p>		
予算額	1,235千円	
所管課	生活衛生課	

事業名		事業内容
8 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育に関する啓発を実施し、事故やトラブルの防止に取り組めます。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時ペット対策の啓発や取組支援、飼い主への日頃の準備等の啓発を実施します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (623千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、中区獣医師会と連携して、犬の飼い主への啓発を実施しました。(4月 3会場)</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、中区獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者への啓発を実施します。(11月)</p> <p>ウ 犬の放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携し、散歩中の飼い主に対する啓発、指導を実施します。</p> <p>エ 啓発用動画等を作成し、飼い主向け講習を実施することにより、動物の適正な飼い方に係る知識の普及を行います。(2月)</p> <p>オ 区民が飼い主のいない猫対策として実施する地域猫活動の支援や機材の貸出しを行います。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (188千円)</p> <p>ア 地域防災拠点の拠点訓練等においてペット同行避難に関する展示や同行避難訓練等の実施についての提案、支援を行います。(11月)</p> <p>イ ペット同行避難の検討に既に取り組んでいる地域防災拠点の成果物を参考に、ホームページ等での啓発、ペット避難所開設キットの配備を推進します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策7	
 <p>地域防災拠点におけるペット一時飼育場所設置例</p>		
予算額	811千円	
所管課	生活衛生課	

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1	中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策10	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちにするための中区地域福祉保健計画を広く周知し、地域の福祉保健に関する活動を推進します。 (1) 中なかいいネ！推進会議の運営 (435千円) 地域の見守り力を高める「えん結び」と健康づくりの「元気いっぱい」の活動を推進するため、区推進会議を開催します。 (5/29 第1回・年3回実施予定) (2) 計画推進のための取組 (1,314千円) ア 計画の周知 今計画から7月を「中なかいいネ！推進月間」とし、啓発活動により計画への理解を深める取組を行いました。 (ア) 広報よこはま中区版 特集(7月)、連載(8月、10月、12月、2月) (イ) 各地区の活動を紹介するパネル展 (区役所別館：7/1～28) イ 地域支援チームによる13地区の支援 各地区の計画の取組を区社会福祉協議会・地域ケアプラザとも連携して支援します。 ウ 中なかいいネ！発表会の開催 地域で行われている見守り等の助け合いやまちぐるみの健康づくりの取組を他地区へ広げていくため、発表会で紹介します。(2月) (3) 人材の育成 (315千円) ア 地域人材の育成 地域活動者の活動の幅を広げ、団体間や自治会・町内会と協働するきっかけづくりのためのワークショップを開催します。 イ 地域支援従事者研修 地域支援を行う、区・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員向けに研修を開催します。
 <p>中なかいいネ！ 推進月間パネル展</p>		
予 算 額	2,064千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
2	健康アシスト事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策7	区民が自身の健康に関心を持ち、身近な健康づくりが実践できるよう、健康教育やウォーキング等の健康づくり活動の支援・啓発を行います。 (1) 健康ナビゲーション事業 (786千円) 子育て働き世代を重点に、健康測定(体組成計等)や保健指導により健康づくりのきっかけを提供し、生活習慣病の予防に取り組みます。 (乳幼児健診、がん検診、健康づくりのイベント、子育て支援拠点の各会場にて実施) (乳幼児健診(4か月健診)：6回 113名) (2) てくてくウォーキング事業 (535千円) 地域と協働し、子育て支援拠点等で講座を行い、各地区でのウォーキング活動を定着させます。(パパ・ママ向け講座 6/1 7名) ウォーキングリーダー研修 (9/28) (3) 中区健康づくり月間事業(元気フェスタ21) (250千円) 多くの人が集まる区民祭りの場を活用し、医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と連携した健康増進啓発活動を行います。 (4) 安心子育て妊娠糖尿病対策事業 (150千円) 妊娠糖尿病既往者等の糖尿病ハイリスク者に対し、乳幼児健診等を活用した啓発および健康教育を実施します。(12月) (5) 食育推進事業 (572千円) 年代別の個別食事相談や講座、イベントを開催し、食育従事者向け研修、食育ネットワーク会議を開催します。(マルシェ 6/14 95名) (6) 歯科口腔保健対策事業 (589千円) 子育て支援拠点や高齢者の通いの場と連携し、妊娠中から高齢者までライフステージに応じた口腔疾患の予防と健康増進の啓発を行います。 関係機関向け集団健康教育(9回 106名)
 <p>食育推進事業 (食育マルシェ)</p>		
予 算 額	2,882千円	
所 管 課	福祉保健課	

事業名		事業内容
3 地域包括ケアシステム推進事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策15		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区アクションプラン」(4年3月策定)に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症に優しい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (674千円) 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援し、地域の交流・介護予防活動を支援します。 ア 老人クラブ連合会行事への補助・開催支援(グラウンドゴルフ大会(5月:小港南公園)、ふれあい運動会(6月:中スポーツセンター)、老人福祉大会(9月:関内ホール小ホール)、ノルディックウォーキング(2回実施・3回実施予定)) イ 老人クラブへの加入促進(4/1新規クラブ(関内シニアクラブ)設立) ウ 敬老月間事業(9月)</p> <p>(2) 介護予防事業 (725千円) ア 高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、介護予防普及啓発イベントを開催(アクティブシニアフェスタ 10/4) イ 介護予防リーフレットを小学生を含め配布(7月)</p> <p>(3) 認知症支援事業 (732千円) ア 認知症高齢者等の介護者を対象とした、臨床心理士による個別相談を実施(7回実施・11回実施予定) イ 認知症サポーター企業等の認証【拡充】 中区認知症サポーター企業等認証制度をはじめ、認知症理解の普及啓発のためロゴマークのデザインを公募(7/10～9/15)。認知症サポーター養成講座開催(8/2)。登録企業やキャラバンメイト等支援者が広告や名刺等に使用し啓発につなげる。</p>
 <p>グラウンドゴルフ大会 (中区老人クラブ連合会)</p>		
予算額	2,131千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
4 障害児・者ネットワーク支援事業 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策13		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制をつくりまします。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (495千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催(事務局会議5回実施・7回実施予定、その他各部会随時) イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催(7月合同担当者会議にて虐待防止研修実施)</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (410千円) ポレポレグッズ(障害者作業所製品)の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア ポレポレグッズカタログ更新・増刷 イ 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助(4月) ウ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援(2回実施・4回実施予定) エ 区役所内定期販売会の支援、中区SDGsマルシェでの販売支援(5回実施・7回実施予定) オ プロスポーツチームと連携したポレポレグッズの販売 カ 横浜武道館での卓球大会での販売(2回実施・4回実施予定)</p> <p>(3) 障害者理解推進事業 (55千円) 「共生社会」(障害者差別解消法)に向け障害に対する理解を促進するため地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。</p>
 <p>ポレポレグッズカタログ 「なかなかいよいよ」</p>		
予算額	960千円	
所管課	高齢・障害支援課	

事業名		事業内容
5 みんなで子育て事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略1 政策1、政策2		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるよう、また、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、行政が地域や家庭と連携し、地域全体で子育てのできる環境づくりに取り組みます。</p> <p>(1) コンパス事業 (421千円) 不安や悩みを抱える人が心豊かに子育てができるよう、専門家による子育て講座を開催します。(10/10、11/13、12/12実施予定)</p> <p>(2) 外遊び応援事業 (100千円) 子どもの心と体の健やかな成長を育み、地域の方と交流できるよう、身近な公園で親子が一緒に過ごせる外遊びの機会を作ります。 (3回/全7回)</p> <p>(3) 保護者向け保育所等情報提供 (214千円) 「中区保育所等のしおり」を作成し、認可保育所、地域ケアプラザ等で配布します。(3,500部・10月配布予定)</p> <p>(4) おでかけスポットマップ (596千円) 子育て家庭が安心して楽しく地域の方と交流できるよう、区内の子育て支援施設の情報をまとめた「おでかけスポットマップ」を作成します(4,000部・6年3月発行予定)</p> <p>(5) 外国人向け両親教室 (103千円) 外国につながる区民が安心して子育てできる環境づくりのため、在住者の多い中国語を母語とする方向けの両親教室を実施します。 (6/1 4名/12月予定)</p> <p>(6) 中国語窓口案内補助 (2,571千円) 各種手続・相談等に対応するため、窓口到中国語通訳を配置します。</p>
 <p>外遊び応援事業</p>		
予算額	4,005千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
6 みんなでSTOP ザ虐待★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略1 政策1、政策3、政策4		<p>安心して子育てできるよう地域で見守る力を高めます。子どもや保護者が相談しやすい環境を整え、育児力を高める場や仲間作りの場を提供します。</p> <p>(1) 児童虐待対応力向上事業 (60千円) 児童虐待対応力強化のため区職員、関係機関・団体を対象に弁護士をスーパーバイザーとした事例検討会を実施します。 (7/14/1月予定)</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 (462千円) 1歳未満の第1子の養育者を対象に、仲間づくりや子育ての知識を得ることのできる教室を開催します。 7会場(各会場年10回) (28回 403人)</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実に関する事業 (1,700千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れの方等が受診しやすいように保育ボランティアを配置します。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p> <p>(4) 育児を学ぶ教室・講座 (564千円) 親が育児について相談したり学んだりする子育て講座を開催します。 ・ベビーマッサージ教室 (4回/全12回) ・体罰によらない子育て講座(11/17、11/20、11/27、12/1)</p> <p>(5) 相談業務強化事業 (1,190千円) 区民が児童扶養手当現況届等の手続に来庁する機会を捉え、生活状況の聞き取りや各種手続の支援を丁寧に行うために相談員を配置します。</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援事業 (718千円) 子ども自身が困った時にSOSを発信し、相談機関につながることを目的とした啓発動画の配信や、啓発グッズを配布します。</p>
 <p>子ども向け児童虐待防止啓発カード</p>		
予算額	4,694千円	
所管課	こども家庭支援課	

事業名		事業内容
7 なかくっ子はぐくみ事業★【新規】		<p>子どもと家族が地域との関わり合いを深めることで、地域が子育ての受け皿となり、未来を担う子どもたちが健やかに暮らせるよう、地域と子どもをつなぐ取組を推進します。</p> <p>こども家庭支援課以外の各課の既存事業にも、「子ども・子育て支援」の視点を積極的に盛り込み、庁内プロジェクトで連携の仕方などを議論しながら進めていきます（次頁「子ども・子育て支援推進事業一覧」参照）。さらに新たな取組として、共通ロゴマークの活用や自由研究に活用できる事業一覧を作成するなど、子ども関連事業を区役所一丸となって進めていきます。</p> <p>(1) 地域と子どもをつなぐまちづくり事業 (300千円)</p> <p>ア 各課で取り組む子ども・子育てに関する取組について、より区民の皆様幅広く親しんでいただけるよう、「なかくっこ すくすくサポート」の共通のロゴマークを作成しました。(6月)</p> <p>今後、子ども・子育て関連事業で幅広く活用し、各課が一体となって区民への各事業の浸透を図ります。</p> <p>イ 「なかくっこすくすくサポート」の取組として、各課で実施する小学生の自由研究に活用できる事業を「なかくっこ自由研究大作戦2023」としてまとめ、子育て家庭が事業を知るきっかけづくりを推進しました。(7月～8月)</p> <p>(2) 保育園児駅伝大会での多文化共生推進 (600千円)</p> <p>平成22年度から毎年、中区内で開催している、保育園5歳児による駅伝大会において、「龍舞」体験コーナーを設け、龍舞を参加園児に体験してもらうことにより多文化への理解を深めます。</p> <p>(10/27、11/6、11/10、11/17、11/24)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略1	政策6	
 <p>「なかくっこ すくすくサポート」共通ロゴマーク</p>		
予算額	900千円	
所管課	区政推進課	

中区における子ども・子育て支援推進事業一覧 ※こども家庭支援課所管事業を除く

5年度予算の編成にあたり、P35に掲載した5つの施策に共通する視点として、「子ども・子育て支援」を掲げ、こども家庭支援課だけでなく、各課がそれぞれ得意とする分野で、「子ども・子育て支援」に資する取組を企画しています。

(単位:千円)

事業名(掲載ページ)	所管課	取組内容	令和5年度 予算額
地域防災力向上事業 (P18)	総務課	災害時の担い手育成事業 ・小中学校での防災出前教室の実施 ・主に小学生及び保護者を対象とした防災ウォークの支援	637
安全なまち・防犯対策推進事業(P18)	地域振興課	防犯教室・講座事業 ・子どもを対象にした防犯教室	427
交通安全啓発・放置自転車対策事業(P19)	地域振興課	交通安全啓発事業 ・中区交通安全こどもポスターコンクールの実施 ・スクールゾーン対策の実施	1,897
花・緑でまちの環境改善事業(P20)	中土木事務所	花いっぱい環境対策・省エネ対策事業 ・保育園児による種まきイベントの実施 ・保育園及び小学校へ緑のカーテン設置	550
なかくっちはぐくみ事業 (P25)	区政推進課	地域と子どもをつなぐまちづくり事業 ・各課ごとに取り組んでいる子ども・子育て関連事業を区全体で推進 ・小学生の自由研究に向けた「地域資源を活用した中区のパッケージ」を各課連携で創出	300
多文化共生まちづくり事業 (P27)	区政推進課	多文化共生交流促進事業 ・子どもを中心とした「多文化運動会」等の実施	1,000
「中区愛」はぐくみ事業 (P29)	総務課 区政推進課 地域振興課 中土木事務所	チューリップであふれるまち事業 ・保育園や小学校と協力・連携した植付けイベントの実施	420
		魅力マップ活用事業 ・小学校の夏休みの宿題として「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」の活用を促進	1,395
		中区って「イイネ！」フォトコンテスト2023 ・子どもや青少年の参加を促進	424
		横浜マイスター技能魅力発信事業 ・中区に在住・在勤する横浜マイスターを小中学校に派遣し、技能の魅力を発信	150
		大学・企業等連携事業 ・中区に拠点を有する大学及び企業等と連携し、主に小中学生を対象とした講座を実施	330
まちづくり推進事業(P29)	区政推進課	SDGs推進事業 ・区内在住の子どもを対象とした研修等の実施	400
商店街魅力アップ事業 (P31)	地域振興課	SDGs商店街プロジェクト事業 ・小学校と連携した「お仕事体験」等を通して、こどもたちの地域や商店街に対する愛着を醸成	800
スポーツ・青少年事業 (P32)	地域振興課	プロスポーツチーム等との連携事業 ・区内小中学校を対象としたスポーツ教室の実施	555
		青少年育成事業 ・青少年育成団体への事業費補助の実施 ・青少年を対象としたイベントの実施	1,015
		ウォークラリー推進事業 ・青少年を含む区民を対象としたウォーキングイベントの実施	700
合計			11,000

3 多文化共生のまちづくり

事業名		事業内容
1 多文化情報発信事業		<p>中区で生活する人口の10.9%（4年度末時点）を占める外国人住民に対して多言語広報紙やホームページ等により、わかりやすくタイムリーに行政情報・地域情報を発信します。在住外国人に対し、情報提供を行うことで多文化共生を推進します。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業（2,369千円）</p> <p>ア 発行回数及び発行部数</p> <p>(ア) 「Naka Ward Town News」（英語版） 1回実施・3回予定 各4,200部</p> <p>(イ) 「春夏秋冬」（中国語版） 1回実施・3回予定 各4,400部</p> <p>(ウ) 「中区多言語広報紙」（日本語版） 1回実施・3回予定 各1,000部</p> <p>イ 内容：中区在住の外国人住民に役立つ生活情報、行政情報等</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業（994千円）</p> <p>ア 言語：英語、中国語、ハングル、やさしい日本語</p> <p>イ 回数：月1回（4回更新・8回更新予定）</p> <p>ウ 内容：広報よこはま・なか区版掲載の特集・イベント情報抜粋、生活情報等</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策11	
 <p>多言語広報誌</p>		
予算額	3,363千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
2 多文化共生 まちづくり事業★		<p>「中区多文化共生推進アクションプラン」に基づき国籍やルーツによらず誰もが地域の一員として、安心して自分らしく暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。また、次期プランの改訂も見据え、6年度外国人意識調査に向けた実施準備・検討を行います。</p> <p>2年度に改定した第2期アクションプラン（計画期間：3年度～6年度）の基本目標「基礎的支援の充実」「地域とのつながりづくり」に基づき施策を推進していきます。</p> <p>(1) 中区多文化共生推進アクションプラン推進事業（350千円）</p> <p>区民・職員の多文化共生意識の醸成や各課が取り組む多文化共生施策の推進支援を行います。区民に対しては「多文化共生ボランティア入門講座」等を実施（1月）することで多文化理解の向上と地域における支援の担い手育成を図り、職員向けには「やさしい日本語研修」を実施（12月）することで外国人住民がわかりやすい応対を推進します。</p> <p>また、第2期中区多文化共生推進アクションプランより一層の推進と次期プランの改訂も見据え、6年度外国人意識調査に向けた実施準備・検討（有識者ヒアリング等）を行います。</p> <p>(2) 多文化共生交流促進事業（1,000千円）【拡充】</p> <p>区内の支援団体等やなか国際交流ラウンジと連携し、日本人・外国人住民の交流促進や共生社会の実現に向け、「多文化運動会」の開催（8月）やNPO団体と連携したイベント（3月）等を実施します。</p> <p>(3) 多言語翻訳機器充実事業（500千円）</p> <p>行政情報の多言語発信や多言語による窓口対応を円滑に行うため、前年度に引き続き多言語翻訳機器を運用します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策11	
 <p>4年度多文化共生交流イベントの様子</p>		
予算額	1,850千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、外国人コミュニティや各団体・学校・地域との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 (3,393千円)</p> <p>ア 地域連携事業：地域ヒアリング等を行い、情報収集やボランティアの活躍の場の発掘など地域との連携を図ります。</p> <p>イ 人材育成事業：外国ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所づくりを通じて、地域人材を育成します。</p> <p>ウ 多文化共生ボランティア養成講座 (計12回程度)</p> <p>エ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (年2回：7月開催)</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 (1,604千円)</p> <p>ア 定期教室 (前期：5～10月、後期：11～3月)</p> <p>イ スタート教室 (定期教室と同時開催：週2回 10人/回)</p> <p>(3) 多文化共生理解事業 (885千円)</p> <p>ア 多文化共生理解講座等の実施 (年3回)</p> <p>イ 中区多文化フェスタ開催 (年1回)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 (616千円)</p> <p>自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (748千円)</p> <p>各課が発信する情報の迅速な多言語化のために翻訳を実施</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (1,012千円)</p> <p><参考>生活ガイダンス事業 (2,800千円・国際局区配)</p> <p>新規転入外国人向けにタブレットを活用した生活ガイダンスを実施</p> <p><参考>地域連携強化事業 (4,500千円・国際局区配)</p> <p>外国人集住地域での課題解決を図るコーディネーターが、地区定例会の参加や連携地域での多文化共生事業等を実施</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策11	
 <p>日本語学習支援の様子</p>		
予算額	8,258千円	
所管課	地域振興課	

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名		事業内容
1 「中区愛」はぐくみ事業★		<p>区民や大学・企業等の区内事業者と連携し、区の魅力を発信・再発見することで、「中区愛」をはぐくみ、地域の活性化・元気づくりにつなげます。</p> <p>(1) チューリップであふれるまち事業 (420千円) ア 植付けイベント等に活用するための球根配布を行います (10月～) イ 区民と協働して横浜公園での球根植付けを行います。 (11月)</p> <p>(2) 中区みんなのマスコット「スウィンギー」事業 (560千円) 中区制80周年を記念し、マスコットキャラクターとして中区民により選ばれた「スウィンギー」を各種イベントに派遣するほか、PRグッズ等を作成します。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (1,395千円) 「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」 外国語版の発行・配布を行います。 (3月) また、絵地図を活用したまち歩きイベントを実施しました。 (8月)</p> <p>(4) 中区って「イイネ！」フォトコンテスト2023 (424千円) 【拡充】 作品募集期間を学校の夏休み前から設定するなど、参加しやすい環境を整えます。また、受賞作品の活用については市庁舎アトリウムでの展示のほか小中学校や区民利用施設等、地域での展示を行います。</p> <p>(5) 横浜マイスター技能魅力発信事業 (150千円) 中区に在住・在勤する横浜マイスターを学校や各種イベント等に派遣し技能の魅力について、講演等を行います。</p> <p>(6) 大学・企業等連携事業 (330千円) 【新規】 ファンケル神奈川SDGs講座 (7月) や関東学院大学と連携した区役所職業体験 (8～9月) の実施及び大学周辺の魅力発信等を進めます。</p> <p>(7) 区制100周年に向けた情報収集と機運醸成事業 (2,000千円) 【新規】 区制100周年に向けた準備を進めるほか、機運醸成を図ります。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策10	
 <p>チューリップであふれるまち事業</p>		
予算額	5,279千円	
所管課	区政推進課 地域振興課 中土木事務所	

事業名		事業内容
2 まちづくり推進事業		<p>中区にある歴史的・文化的資源や港・河川などの水辺等を活用した取組を進めることで、区の魅力向上につながるまちづくりを進めます。</p> <p>まちづくりの推進にあたっては、区民等のまちづくり活動を支援し、様々な地域資源を活用することで、区民の地域への愛着を育み、更なるまちづくり活動へつなげます。</p> <p>また、「SDGs未来都市・横浜」の実現のため、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発を行うことで、区民の意識醸成を図ります。</p> <p>(1) 地域まちづくり活性化事業 (1,234千円) ア 関内関外エリアを中心とした、地域の賑わいを生み出す取組を実施します。 イ まちづくり団体の定例会への出席などにより、ルール・プラン策定や策定後の運用、その他のまちづくり活動等の支援を実施します。緊急性や必要性の高い課題に、関係課等と連携して対応します。</p> <p>(2) SDGs推進事業 (400千円) 横浜野菜等の直売所「中区SDGsマルシェ」の開催を通じ、暮らしの中で取り組めるSDGsや脱炭素社会実現につながる身近な行動等の啓発を行います。また、意識醸成を図るため、区内ホテル等から提供されたロスフラワー (美しい状態で廃棄されてしまう花) を活用したプロジェクトをはじめ、企業連携など様々なパートナーシップのもと、区職員や区内在住の子どもを対象とした企画等を実施します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略6	政策29	
 <p>中区SDGsマルシェ</p>		
予算額	1,634千円	
所管課	区政推進課	

事業名		事業内容
3 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携・協力関係を深めます。自治会町内会への加入を促進し暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進 (438千円) 加入促進チラシの配布や新規建築マンション管理組合への働き掛けなど新たな自治会町内会設立・加入を支援します。</p> <p>(2) 町内会掲示板整備補助事業 (1,000千円) 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会 (860千円) 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、表彰式・感謝会を開催します。(6年3月)</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援 (345千円) 自治会町内会実務担当者向け研修会や区連会定例会等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。(研修会 4/22、25)</p> <p>(5) 学生連携事業 (1,200千円) 【新規】 関東学院大学の学生と自治会町内会長との意見交換など若者と地域との関わり場の場作りに取り組み、自治会町内会加入率の低下や担い手不足など地域が抱える課題解決の手がかりを探ります。</p> <p><参考> (市民局区配予算) ・地域活動推進費補助金・防犯灯維持管理費補助金 ・自治会町内会館整備補助金</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>自治会町内会加入促進チラシ</p>		
予算額	3,843千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
4 みんながつながる地域づくり事業★【新規】		<p>自治会・町内会をはじめとした地域の様々な主体の連携・協働による地域課題解決の取組を支援し、地域人材の発掘・育成につなげます。</p> <p>(1) 地域活性化とまちの賑わいづくり支援事業 (920千円) 地域が自主的に、各種団体と連携しながら、地域を盛り上げる祭りやイベントを企画し、実施できるよう支援します。イベントへの参加を通じて若い世代が自治会町内会活動に参加するきっかけづくりにつなげるとともに、多世代、多国籍の区民と一緒に地域の盛り上げに関わることも目指します。</p> <p>ア 地域の賑わい、つながり作りのための補助制度の新設 (みんながつながる地域づくり補助金 6/5募集終了 「本牧・根岸地区まちづくりの会」他5件 計530千円の交付決定)</p> <p>イ 地域イベントの広報サポート (地域人材と連携したチラシ作成、印刷、HP掲載等)</p> <p>ウ 区民活動センターや国際交流ラウンジとの連携支援</p> <p>(2) 地域運営力向上サポート事業 (320千円) 地域が自主的に、地域の課題を考え、勉強会の成果をもとに新たに取り組めるよう、地域(連合町内会、単位町内会等)の中で課題となっているテーマについて、勉強会を開催するための専門家・コーディネーター等の派遣費用の支援や講師の紹介を行います。 (「第3地区ワークショップ」36千円)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>地域のコンサート</p>		
予算額	1,240千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
5 商店街魅力アップ事業		<p>中区の商店街のさらなる魅力アップと活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業 (2,700千円) 地域と密着した地元メディア (FM放送局、地域情報紙) を活用して魅力紹介、セール・イベント情報等を発信し、地域での消費促進に向けた広報を行います。</p> <p>(2) SDGs 商店街プロジェクト事業 (800千円) 【新規】 商店街には、身近な買い物の場にとどまらない魅力や社会的価値がある一方、店主の高齢化や大型商業施設の進出に伴う顧客の減少などが課題となっています。</p> <p>持続可能な地域社会をつかっていくために、商店街振興にSDGsの観点を取り入れ、商店街と次世代を担う子どもたちや地域の様々な団体等が連携し、子どもたちが商店街等の地域社会に愛着を持ち、地域に関わる仕掛けづくりに取り組みます。</p> <p><参考> (経済局区配付予算) ・商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。 ・商店街活性化のための区局連携事業：SDGs 商店街プロジェクト事業において、経済局区配付予算 (1,000千円) を活用します。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略4	政策20	
 <p>小学生が商店街の店舗にインタビューしている様子</p>		
予算額	3,500千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
6 インクルーシブスポーツ推進事業		<p>インクルーシブスポーツを推進することにより、障害者や高齢者等、これまでスポーツに取り組む機会が少なかった人にスポーツと関わる機会を提供するとともに、地域社会で生活する人々の交流の促進を図ります。</p> <p>また、幅広い人々が一緒にスポーツに取り組み、時間、場所、経験等を共有することで、誰もがお互いを尊重し合い、いきいきと暮らすことができる共生社会の実現に向けた機運醸成を図ります。</p> <p>(1) 体験できる場の提供 (1,700千円) ア 体験会の開催 ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカーの体験会を実施した。(5/28、大通り公園、約1,500名参加) イ 区内のイベントにおける体験ブースの設置 中区インクルーシブスポーツ連絡会等と連携し、区内で開催されるイベントに体験ブースを設置 (ア) ポレポレまつり (10/28、本牧いずみ公園) (イ) ハローよこはま (11/12、象の鼻パーク)</p> <p>(2) 交流大会の開催 (645千円) 体験を通じてインクルーシブスポーツの魅力を発信するため、ボッチャ交流大会を開催 (6年2月)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策8	
 <p>インクルーシブスポーツ体験会</p>		
予算額	2,345千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
7 スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業を展開していきます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (1,280千円)</p> <p>ア 区スポーツ協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区スポーツ協会への事業費補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 (ア) ラジオ体操普及事業の実施 (6/24 25名) (イ) 横浜マラソンに向けたランニングクリニックの実施 (6/10、17 (全2回 15名))</p> <p>(2) プロスポーツチーム等との連携事業 (555千円)</p> <p>ア 中区スポーツ教室 イ YC&AC/中区ラグビー教室</p> <p>(3) 青少年育成事業 (1,015千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 (ア) なかくっ子クルーズ (6/22、マリーンルージュ 児童90名) (イ) 中区ダンスフェスティバル (7/30) (ウ) 小学生フットサル大会 (6年1月、3月)</p> <p>(4) ウォークラリー推進事業 (700千円) 街並再発見と健康づくりを目的に、地域団体(青少年指導員・スポーツ推進委員)が主体となり開催 (5/28、53組150名)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策8	
 <p>中区文明開化ウォークラリー</p>		
予算額	3,550千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
8 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、中区読書活動推進目標に基づき地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業(区民活動センター) (2,249千円)</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り(ハローよこはまと同時開催)、中区民利用施設スタンプラリー(10月～11月)、登録団体との連携講座、フラワー&グリーンフェスタ(5/27、28)でGREEN×EXPO 2027周知</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行(2回発行、4回発行予定) 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援(月2回)</p> <p>(2) 生涯学習事業 (220千円)</p> <p>ア 地域課題解決のための地域で活躍する人材育成講座 イ 街歩き講座「中区タウンピクニック」</p> <p>(3) 文化活動支援事業 (130千円) 共催・後援等による文化活動の支援</p> <p>(4) 読書活動推進事業 (267千円)</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会(3回開催予定)及び「なか区ブックフェスタ」の開催(10月～11月) イ 読書啓発イベントの開催(11月)</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>中区民利用施設スタンプラリー台紙</p>		
予算額	2,886千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
9 中区民祭り「ハローよこはま2023」		<p>中区民の交流と調和による地域連帯の醸成と、区民の健康増進を目的に中区民祭り「ハローよこはま2023」を開催します。</p> <p>(1) 基本コンセプト</p> <p>ア 中区のもつ活力や魅力を広く発信していくことで、「区民はもとより、中区で働く人や横浜を訪れる人々も楽しめるイベントづくり」を心がけます。</p> <p>イ アフターコロナに向けて、改めて中区民としての意識の高揚や、地域愛及び協働・自治意識の醸成をねらいとします。</p> <p>ウ 「笑顔あふれるハローよこはま～未来を担うこどもとともに～」をメインコンセプトとし、こどもが参加しやすいイベントとなるよう、各プログラムやブース出展に取り組みます。</p> <p>また、「GREEN×EXPO 2027」や「中区制100周年」に向けた機運醸成などに関係機関・団体等と連携し取り組みます。</p> <p>(2) 開催日・会場</p> <p>ア 日程：11月12日（日）午前10時～午後4時・荒天の場合中止</p> <p>イ 会場：象の鼻パーク</p> <p>(3) 実施内容（予定）</p> <p>ア 区民団体及び企業等によるブース出店</p> <p>イ 中区で活動する団体等によるステージ発表</p> <p>ウ インクルーシブスポーツや、プロスポーツチームによるスポーツ体験等</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略2	政策9	
 <p>ハローよこはま2022</p>		
予算額	2,925千円	
所管課	地域振興課	

事業名		事業内容
10 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市（344千円）：友好交流協定（平成26年3月締結）</p> <p>平成25年3月に飯能市との間で鉄道相互直通運転が開始されたことを契機に、友好交流協定を締結。両都市で行われる地域イベント（祭り）への参加及び広報紙やSNS等を通じての相互PRに取り組みます。</p> <p>(2) 群馬県嬲恋村（155千円）：友好交流協定（平成28年2月締結）</p> <p>嬲恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰を契機に、友好交流協定を締結。両都市で開催される地域イベント等への参加を通じて、相互PRや誘客に取り組みます。</p> <p>(3) 岩手県釜石市（80千円）：友好交流協定（平成26年3月締結）</p> <p>中区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き、協定に基づき事業を推進します。</p> <p>(4) 仁川広域市中区（121千円）：友好交流協定（平成22年3月締結）</p> <p>本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き、協定に基づき事業を推進します。</p> <p>仁川広域市中副区長ほか4名が生涯学習政策の現状及び成果事例研究のため、中区役所やコミュニティハウス等を訪問。（4月）</p> <p>※ 上記の他、山形県米沢市、沖縄県宜野湾市と交流を行います。</p>
横浜市中期計画2022～2025		
戦略4	政策22	
 <p>飯能ツアーマーチ ゴール地点での記念撮影</p>		
予算額	700千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名		事業内容
1 区役所サービス 環境向上事業★ 横浜市中期計画2022～2025 戦略2 政策11、政策12 行政運営、DXの推進		ぬくもりある行政サービスを提供することにより、区役所への区民満足度向上を目指します。また、利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めるとともに、デジタル化の推進による執務環境の向上にも取り組み、持続可能な区役所運営を図ります。 (1) 人権啓発事業 (1,034千円) 人権が尊重される社会を目指し、区民を対象にした人権啓発講演会を開催します。(6年1月)また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施します。 (2) 区民顕彰・CS向上・ES向上・人材育成事業 (106千円) 60年にわたり食育・健康づくりの推進に尽力した功績を称え、「中区食生活等改善推進員」を表彰しました。(6/28) 窓口サービスの向上のため職員向けの研修を実施します。また、職員の意識改革やチャレンジの推進を支援するため、人材育成研修の実施や所属横断プロジェクトの活動支援を行います。 (3) 利用しやすい区役所づくり事業 (11,077千円) 感染症対策や警備・案内の業務委託のほか、庁舎環境の改善も実施します。 ア 総合案内スタッフと連携して、警備や案内を行います。また、状況に応じた庁舎内の感染症対策に取り組みます。 イ 窓口待合環境の改善等に取り組みます。 (4) 執務環境向上事業 (5,052千円) ICT環境の拡充を通じ、業務の質向上・事務効率化を促進します。 ア 地域で説明や現地調査等を効果的に進めるため、インターネット接続可能なタブレット端末を調達し、各所属に配布しました。(7月末) イ 外部とウェブ会議を行うためのライセンス等を管理運用します。
		
区民顕彰授与の様子		
予算額	17,269千円	
所管課	総務課	

事業名		事業内容
2 広報・案内事業 横浜市中期計画2022～2025 行政運営		様々な手法で中区の魅力を発信することによって、区民のシビックプライドを高めるとともに、市民からの意見を区政の改善につなげていきます。また、区役所を訪れた方をスムーズに案内できるよう、総合案内窓口業務に専任のスタッフを配置します。 (1) 広報相談事業 (1,246千円) ア 区ホームページでの区政情報発信 イ ツイッター及びLINEによるイベント情報等の発信 ウ 庁内職員のための広報研修 エ 市民からの提案受付 オ 団体からの陳情対応 (2) 総合案内運営事業 (2,613千円) ア 1階総合案内に受付専任スタッフ(委託)を配置 イ 横浜市及び国・県等の各種広報チラシ配架 ウ 1階ロビーのデジタルサイネージによる動画及び画像の放映
		
横浜公園のチューリップの様子をホームページ及びSNSにて発信		
予算額	3,859千円	
所管課	区政推進課	

令和6年度中区個性ある区づくり推進費予算編成の考え方（案）

令和6年度予算についても、横浜市中期計画の推進に重点を置き、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～」を基本目標として編成します。

特に、子どもたちの健やかな成長を支え、魅力ある地域を次世代につなげていくため、子育てしやすい環境づくりに取り組みます。また、国籍、性別、年齢、障害の有無をお互いの個性として認め合い尊重する共生社会の実現や、「まちの賑わい」と「つながりづくり」を意識した地域活性化に取り組みます。

各事業の予算編成にあたっては、本市が一丸となって進めるSDGsや脱炭素化の推進の視点を持って事業内容を検討します。あわせて、2027年に向けて、「GREEN×EXPO 2027」及び「中区制100周年」の機運醸成を推進していきます。

【参考】令和5年度中区運営方針 目標達成に向けた5つの施策

- 1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
（「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業）
- 2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり
（「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業）
- 3 多文化共生のまちづくり
（「多文化」等 関連事業）
- 4 地域の活力があふれるまちづくり
（「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業）
- 5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり
（「区民サービス向上」「広報」等 関連事業）